

令和5年度入学生からBYADによる 1人1台タブレット端末の活用が始まります。

BYADとは「Bring Your Assigned Device」の略で学校が端末と購入方法を指定する方法です。

令和5年（2023年）度入学生から新しい学習指導要領やGIGAスクール構想に基づきタブレット端末を購入していただき、「ICTの活用により、society5.0社会に対応できる新しい学びを実現すること」を目的に、ICT教育を積極的に進めて参ります。

具体的には、効率的かつ個人の学習状況に合わせた学びを実現し、**基礎学力の向上**を図ります。また、ICT技術を用いた情報共有、共同作業、双方向授業を通じて、**主体的・対話的で深い学び**を実現します。

このタブレット端末は、県の教育系ネットワークに接続して使用するためのもので、県教育委員会の規定により学校を通しての一括購入のものが必要となります。また全端末共通のソフトウェアでの管理となりますが、ご家庭での利用も可能です。卒業後は引き続き自分の端末として活用できます。

詳細については、令和5年3月下旬の本校入学者説明会に於いてご説明いたします。

「1人1台端末」の活用により、このような学びが実現します



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習



マルチメディアを用いた資料、作品の制作



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録



複数の意見・考えを議論して整理



情報端末の持ち帰りによる家庭学習



グループでの分担、協働による作品の制作

ご購入いただく端末について

購入いただく機種はiPad（第9世代 64GB）、本体、初期設定費用、MDM（モバイルデバイス管理）等をあわせて55,000円程度、別途任意で破損盗難保障保険への加入、付属品の購入があります。卒業後はご自身の端末として自由にご活用いただけます。

※ 購入費用は、入学時にご負担いただく予定です。詳細については、後日、お知らせいたします。